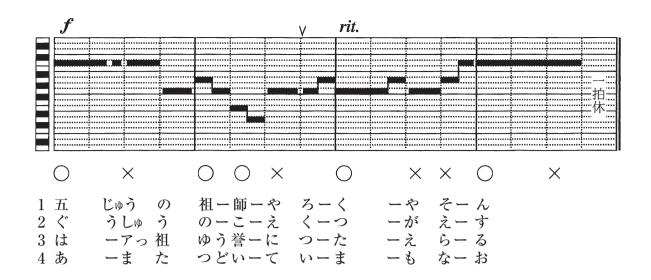
聖冏上人鑽仰御和讚

蓮 池 光 洋 作詞 のびやかに = 60ぐらい 松 濤 基 作曲 mf $0 0 \times$ X X X X くーにーは いー わ 1 ひ たちの おーしーえ うー け 2 浄 - 土 の しーちー書 ごー じゅ 中ーこーう 名ー は 3 さ んがん 4 浄 しょう げーい +: X X X X 1 < ほとりー に うーま じがわ ーれ いーづ んごく でんらーい れーェ 2 さ っ祖 でーん みおしーえ たーて 3 祖 ー師 ーな \mathcal{O} ろくやーと かづき あーお れー 4 A mp \otimes \otimes \otimes \otimes \otimes \otimes X X 1 りょうじつろくそを 師とあおぎ ね んぶつのーみちは げみゆく 2著ー書もあまたの がくとくそう ひ ろがるねぶつに矢 ささるも こ.. ~ 1aかつに失 ささるもく じゅしんでーんのみ おしえをま 一つりたの! ^ ^ 3ねんぶつかくりつ 五重ーの伝 4みのりのあーきの つきてらし ま 一つりたのしやね んぶつ衆



ポイント注意

- ●曲を通じて、明るくお唱えしましょう。
- ●各節9小節目からの「転句部」は、特に歯切れよく躍動してお唱えします。

しょうげい しょうにん さん ごう 聖冏上人鑽仰和讃

蓮 池 光 洋 作詞

- 1 常陸の国は 岩瀬城 常陸の国は 岩瀬城 久慈川ほとりに 生まれ出づ りょうじつ 了実六祖を 師と仰ぎ 念仏の道 精みゆく 五重の祖師や 六々尊
- 2 浄土の教え 受け継がれ 三国伝来 列祖伝 著書もあまたの 学徳僧 広がる念仏に 矢刺さるも 第宗の声 くつがえす
- 3 三巻七書 五十五箇 祖師のみ教え 建て直し 念仏確立 五重の伝 口授心伝の み教えを 八祖酉誉に 伝えらる
- 4 浄土中興 名は聖冏 名は聖冏 三日月六夜と 仰がれて 実りの秋の 月照らし 祭り楽しや 念仏衆 あまた集いて 今もなお